様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年　5月　13日

東京都知事　　殿

提出者
住　所　東京都江東区亀戸4-22-1

氏　名　大木建設株式会社　東京建築支店
取締役上席執行役員支店長　　大木健司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5628-0904

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大木建設株式会社　東京建築支店
事業場の所在地	東京都江東区亀戸4-22-1
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで

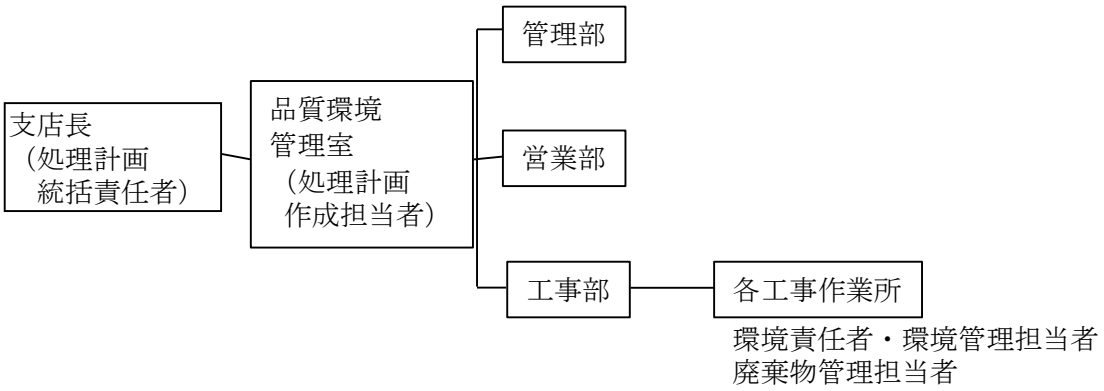
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　26.3億円（前年度の八王子市を除く都内実績）
③従業員数	41人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥⇒再生処理業者に委託⇒造成土･改良土として再生利用 ・廃プラ⇒再生処理業者に委託⇒燃料･プラ原料として再生利用 ・金属くず⇒再生処理業者に委託⇒金属原料として再生利用 ・ガラス陶磁器等くず⇒再生処理業者に委託⇒再生砕石･砂として再生利用 ・がれき類⇒再生処理業者に委託⇒再生砕石･砂等として再生利用 ・紙くず⇒再生処理業者に委託⇒再生紙原料として再生利用 ・木くず⇒再生処理業者に委託⇒燃料･原料チップ、肥料として再生利用 ・混合廃棄物⇒再生処理業者に委託⇒燃料･肥料･建設材料･セメント原材料他として再生利用

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
排　　出　　量	2,198.90　t	42.70　t

（これまでに実施した取組）

・年度ごとに設定する支店の環境目的・目標に基づき、各部署で目的・目標を設定。
・各作業所にて環境管理計画書、廃棄物処理計画書等により廃棄物の発生、排出量抑制・分別品目数を計画して実施。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
排　　出　　量	2,000.00　t	80.00　t

（今後実施する予定の取組）

・各作業所の廃棄物処理計画と実施を評価し、水平展開を行う。
・混合廃棄物の分別により更なる減量化を図る。
・工法の検討、梱包材の簡略化等により廃棄物発生量が少ない計画を策定し、実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・各作業所の規模及び状況によるが、廃プラ･金属くず･廃石膏ボード･コンクリート片・ダンボール･木くず等のうち4種類以上の分別に努めている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・更なる分別化を図って混合廃棄物の発生量の割合を減少させ、リサイクル率を高める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排　　出　　量	0.26　t	11.87　t	14.60　t	123.44　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排　　出　　量	1.00　t	20.00　t	14.00　t	140.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
排　　出　　量	31.42　t	150.96　t	41.34　t	57.97　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
排　　出　　量	100.00　t	140.00　t	40.00　t	80.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
排　　出　　量	163.36　t	－　t	－　t	－　t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
排　　出　　量	215.00　t	－　t	－　t	－　t

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

自ら産業廃棄物の再生利用は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

実施予定無し。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

実施予定無し。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

自ら産業廃棄物の埋め立て処分、海洋投入処分は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

実施予定無し。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>2,198.90 t</td><td>42.70 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者
への処理委託量</td><td>－ t</td><td>34.65 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>2,198.90 t</td><td>42.70 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者
への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者
への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・再生利用ができる業者と委託契約を締結している。
・電子マニフェスト普及率が、ほぼ100％に近く、廃棄物の適正処理状況の確認が向上。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	0.26 t	11.87 t	14.60 t	123.44 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.26 t	11.87 t	14.60 t	31.52 t
再生利用業者への処理委託量	0.26 t	11.87 t	14.60 t	123.44 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
全処理委託量	31.42 t	150.96 t	41.34 t	57.97 t
優良認定処理業者への処理委託量	21.46 t	141.34 t	41.04 t	43.12 t
再生利用業者への処理委託量	31.42 t	150.96 t	41.34 t	57.97 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
全処理委託量	163.36 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	145.81 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	163.36 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2,000.00　t</td><td>80.00　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>80.00　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>2,000.00　t</td><td>80.00　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・優良認定の収集運搬業者・処理業者との委託契約率の向上を、継続して推進する。
・再生利用ができる業者を継続して選定し、委託契約を行う。
・電子マニフェスト普及率100%。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	1.00 t	20.00 t	14.00 t	140.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	1.00 t	20.00 t	14.00 t	100.00 t
再生利用業者への処理委託量	1.00 t	20.00 t	14.00 t	140.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
全処理委託量	100.00 t	140.00 t	40.00 t	80.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	50.00 t	100.00 t	40.00 t	80.00 t
再生利用業者への処理委託量	100.00 t	140.00 t	40.00 t	80.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
全処理委託量	215.00 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	180.00 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	215.00 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。